

本県の今後の対応

資料 1

県内の感染状況を踏まえ、「**福井県感染拡大警報**」を発令

期間 1月13日（木）から1月31日（月）まで（19日間）

※今後感染状況に応じて変更の可能性あり

現状の評価（1月13日現在）

			現状	レベル1	レベル2		レベル3
				注意報	警報	特別警報	緊急事態
医療提供体制	①病床全体	現時点確保病床数（425床）の占有率	9.9% （42床）	20%程度 （85～95床）	30%程度 （125～135床）	40%程度 （165～175床）	50%以上 （212床）
	②うちICU	現時点確保病床数（24床）の占有率	0.0% （0床）	20%程度 （5床）	30%程度 （7床）	40%程度 （10床）	50%以上 （12床）
感染状況	③直近1週間の新規感染者数 （人口10万人あたり1週間の新規感染者数）		291人 （37.8人）	概ね70人～80人 （10人）	概ね110人～120人 （15人）	概ね150人～160人 （20人）	192人以上 （25人）

新規感染者： 82人（新規系統21系統）

療養者数： 292人（医療機関42人、宿泊療養施設250人、その他0人）

感染者数の推移

- ・ これまでに比べ、急激に感染者数が増加
- ・ 一方で、病床利用率は低く抑えられている

1週間感染者数

7/21 7/29

23人→113人

(4.9倍)

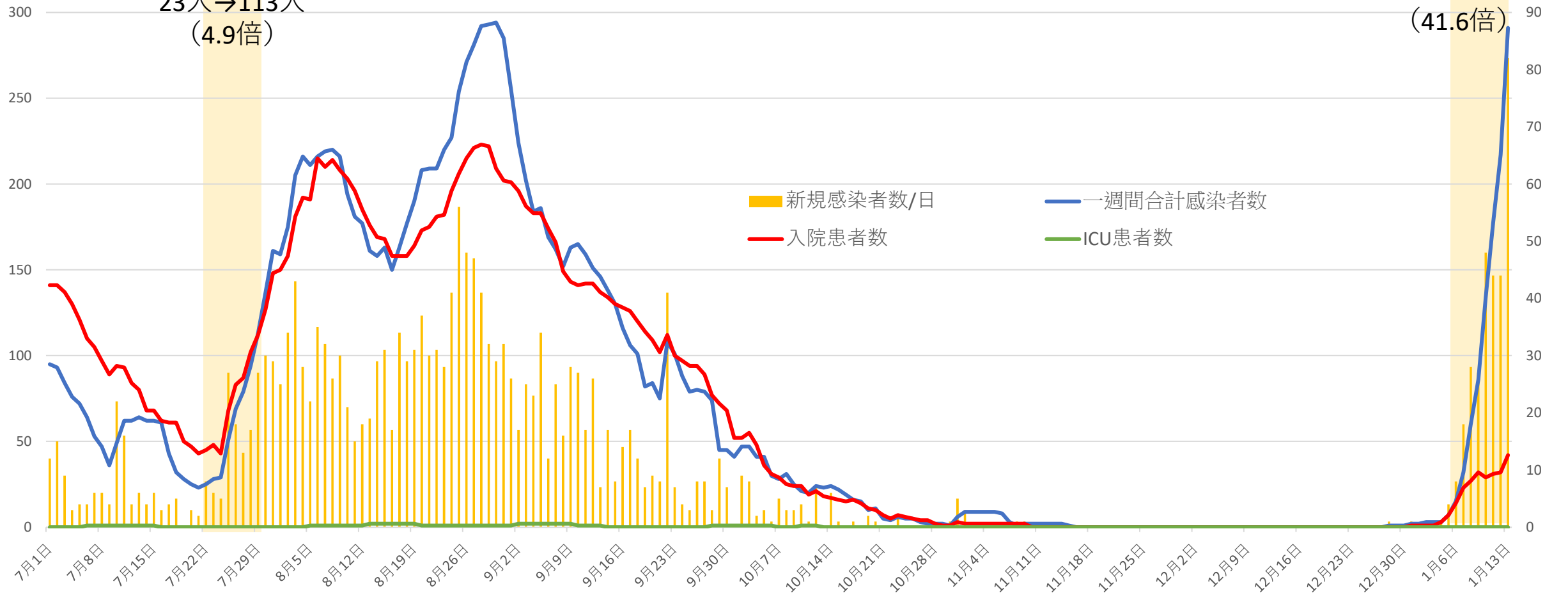
1週間合計感染者数・入院患者数等の動向

1週間感染者数

1/5 1/13

7人→291人

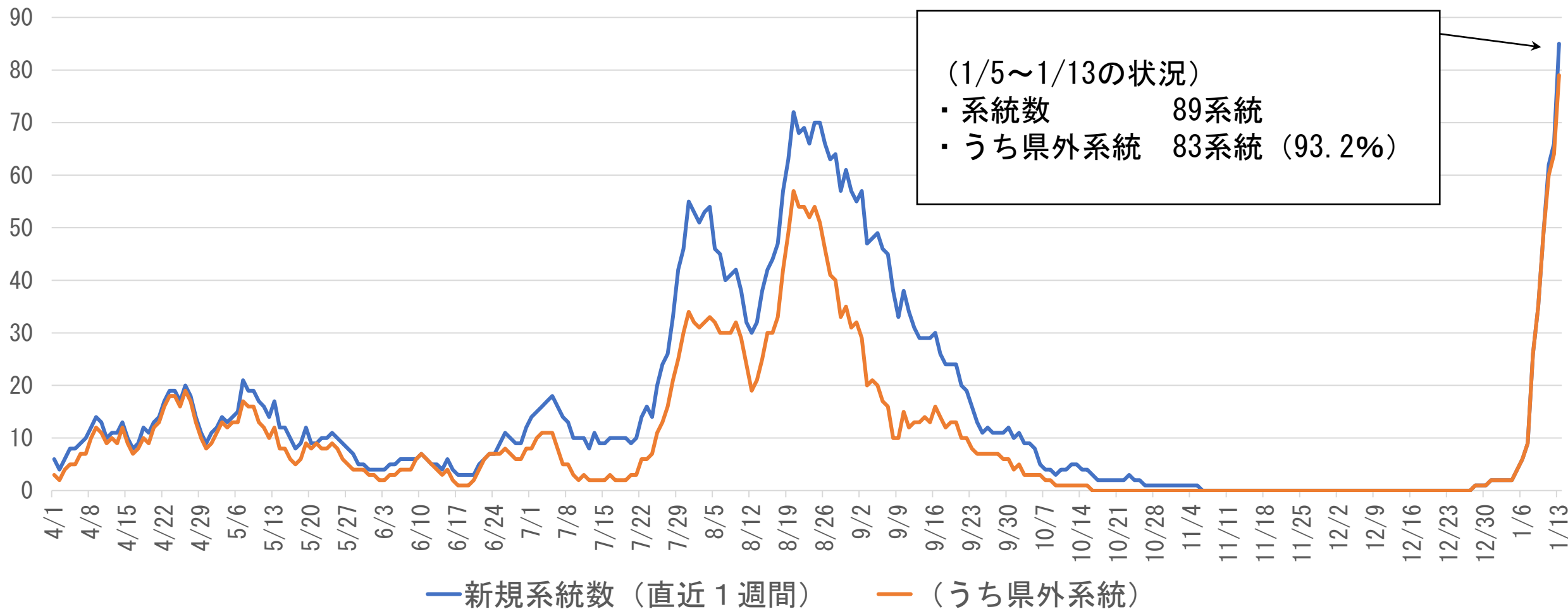
(41.6倍)



感染の状況①

- ・ 県外由来系統による感染が93%

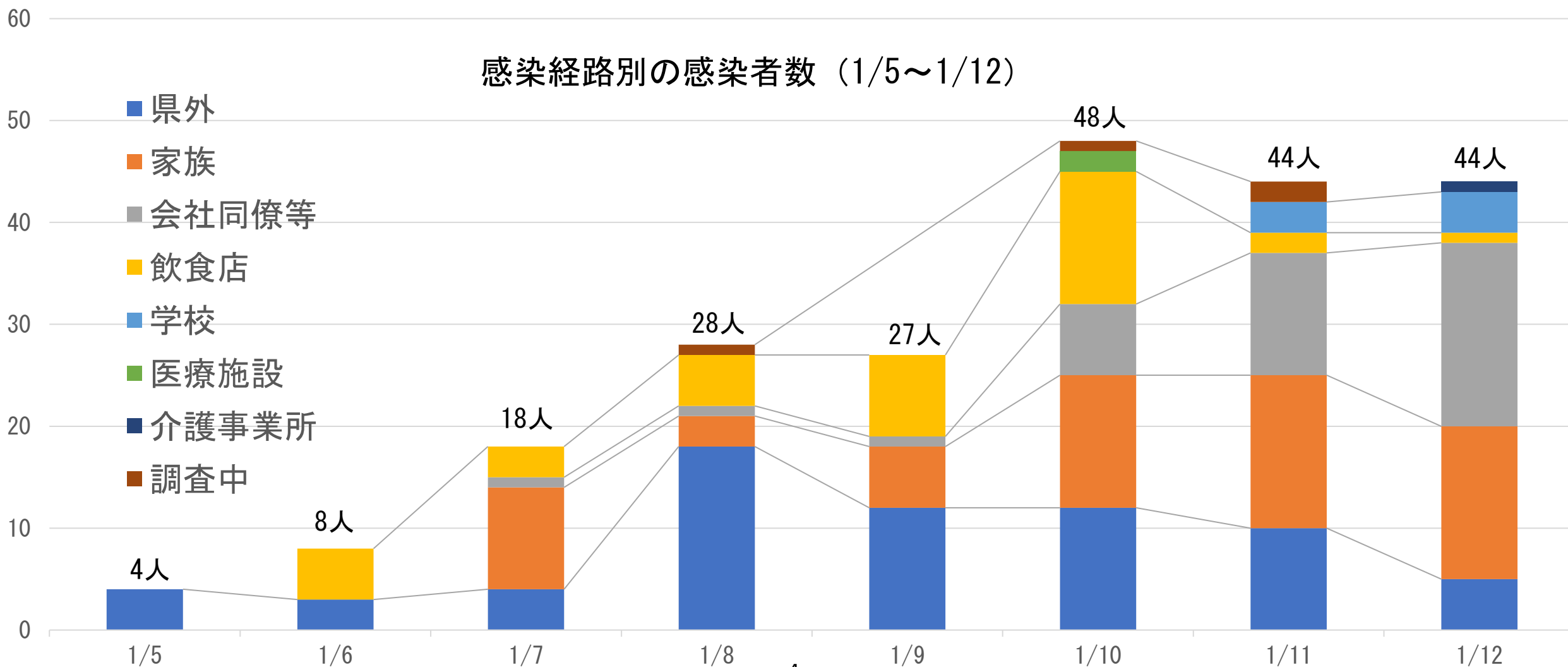
新規系統数（直近7日間）の日ごとの推移



感染の状況②

- ・当初は、県外や飲食店を中心に感染が発生
- ・その後、家族や会社同僚等への二次感染を通じて、感染者数が増加

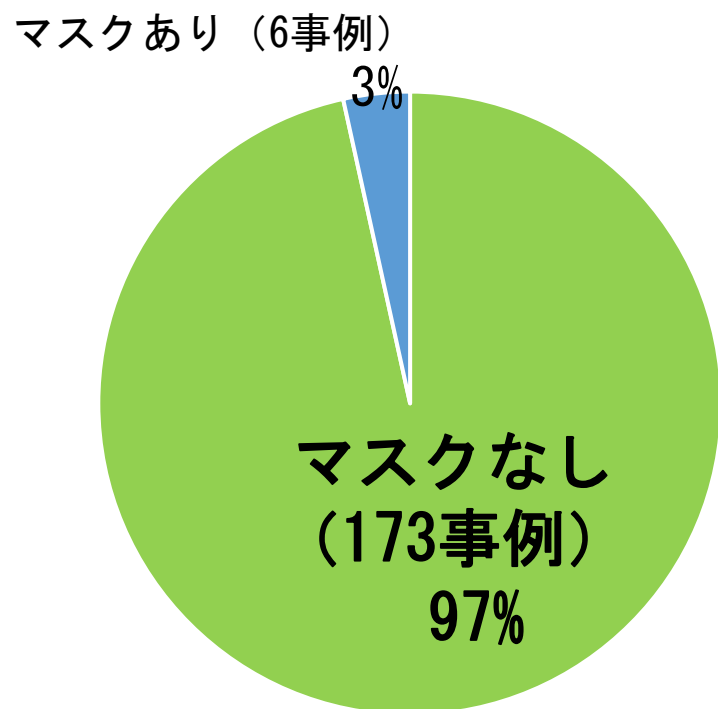
感染経路別の感染者数（1/5～1/12）



感染の状況③

- ・ 感染経路の特定できる感染者の97%が、会話時のマスク着用なし
- ・ マスクなし事例では、飲食を伴う事例がほとんど

感染者におけるマスクの着用状況
(1/5~1/12)



※一部推定を含む

【感染経路が特定可能な事例】

96.6%がマスクなし
(173/179)

	事例数 (人)	割合 (%)
マスクなし	173	78%
マスクあり	6	3%
調査中・不明	42	19%
計	221	100%

※一部推定を含む

(マスクなしでの感染例)

- ・ 帰省した家族や親戚を囲んで食事会
- ・ 県外訪問時に友人とパーティー
- ・ クラブやバーの年末年始イベントに参加
- ・ 友人と飲み会后、カラオケやスナックで二次会
- ・ 職場同僚の自宅に招かれ食事会

感染者の症状内訳

- ・感染者の約8割が軽症、約2割が無症状。重症・中等症は0人
- ・主な症状は、咽頭痛や咳、頭痛など

○年代別人数（1月5日～12日）

（単位：人）

年齢	～9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
人数	12	29	79	35	33	20	7	6	221
割合	5.4%	13.1%	35.7%	15.8%	14.9%	9.0%	3.2%	2.7%	—

○症状別人数（1月5日～12日）

（単位：人）

症状	重症・中等症	軽症	無症状	合計
人数	0	186	35	221
割合	0.0%	84.2%	15.8%	—

○軽症者の主な症状内訳

（単位：人）

症状	発熱	咽頭痛	咳	頭痛	全身倦怠感	鼻汁・鼻閉	関節筋肉痛	味覚障害
人数	110	115	93	62	55	35	32	2
割合	59.1%	61.8%	50.0%	33.3%	29.6%	18.8%	17.2%	1.1%

※同一感染者が複数の症状を有する場合はそれぞれに計上

※発熱については、2日程度で軽快する傾向

オミクロン株の検出状況

- ・ 年末以降、オミクロン株（疑い含む。）の割合が約93%

令和4年1月13日現在

検査数 (12/28公表分以降)	L452R陽性	L452R陰性	
		オミクロン株 (疑い含) 陽性率	うちゲノム解析後 オミクロン株確定 ※
237 (+44)	17 (+6)	220 (+38)	28 (+10)

() 内は前日比

※ゲノム解析結果の判明 令和4年1月13日 14時30分

※本日（1月13日）に新たに10件のオミクロン株を確定、うち1件の経路が不明

福井県感染拡大警報のポイント

県民のみなさまへのお願い

○「おはなしはマスク」の徹底

継続

- ・ 食事中を含め、会話時のマスク着用を徹底
- ・ 家庭内でも体調不良の家族がいる場合は、マスク着用
- ・ 寒い時期でも、換気や手洗い、消毒などの基本的な対策を徹底

○感染拡大地域との往来は慎重に

継続

- ・ 県外往来時には「おはなしはマスク」を率先実施
- ・ 往来する場合は、人混み回避など感染対策

※感染拡大地域…直近1週間の新規感染者数が人口10万人あたり15人以上の地域（県HPで毎日更新）

○会食時の感染対策を徹底

強化

- ・ 「会話時のマスク着用」が徹底できないなら会食は控える
- ・ 認証店は、「会話時のマスク着用」など感染対策徹底を利用者に呼びかけ

※県は認証店の感染対策を徹底するため、現地確認を再度実施中（1月10日～）



警報発令に伴う対策の強化

○学校や職場などにおける感染対策を徹底（資料2、資料3）

- ・体調不良を感じたら登校・出勤を控え、迷わず医療機関へ
- ・事業者は、濃厚接触による欠勤者増加に備えBCP（事業継続計画）を再点検
※特に医療機関や介護福祉施設、交通機関など社会機能維持に関わる職場

○軽症者・無症状者の自宅における経過観察（資料4）

- ・医師による初期治療とサポートセンターの経過観察により安心確保

○宿泊療養施設の拡充

- ・軽症者の増加に備え、宿泊療養施設を拡充

(現状)	医療機関	425床	▶	425床
	宿泊療養施設	316床		375床 (+59床)
	計	741床		800床

○近隣府県旅行割引の新規予約受付を停止（資料5）

- ・「ふくいdeお得キャンペーン」における近隣府県との新規予約受付を停止

○警戒度を一層高め、感染防止対策を徹底

※市町教育委員会に同様の内容を要請

(1) 学校内外での対策の徹底

- ・学校内や登下校時の「おはなしはマスク」や「こまめな手洗い」を徹底
- ・体調に変化が生じている場合、絶対に通学させないよう徹底
- ・受験生とその家族は、家庭内でも会話時にはマスクを着用するなど細心の注意 **強化**
- ・部活動は、県内外を問わず、宿泊を伴う遠征や合宿について慎重に判断 **強化**

(2) 感染者が発生した学校等の対応

- ・学校で感染者を確認した場合には、保健所の指導の下、全容把握のため一旦、臨時休業
※接触のあった教職員・児童生徒の検査結果を確認後、学校再開
- ・校内の感染者の有無に関わらず、学校長が弾力的に出席停止（欠席扱いとしない取扱い）を判断
※受験を控え感染に不安を抱えている生徒の自宅待機を認める等

(3) 体調不良等で通学できない児童生徒の学びの保障

- ・対面授業とオンライン学習を併用するほか、健康状態に応じて個別に対応（プリント配布や課題提供）

事業者に対して、関係団体を通じて下記の事項を周知

○ 職場内の感染対策の徹底

- ・ 昼食時、休憩時を含めて会話時のマスク着用を徹底
- ・ 体調不良の場合は、出勤を控え、医療機関に受診することを徹底
- ・ 感染拡大地域との往来は慎重に判断し、オンラインによる実施を検討

○ 事業継続体制の構築

- ・ 濃厚接触による欠勤者増加に備え、BCP（事業継続計画）を再点検
- ・ より一層のテレワークや時差出勤、シフト制の導入など、働き方を見直し

自宅における経過観察

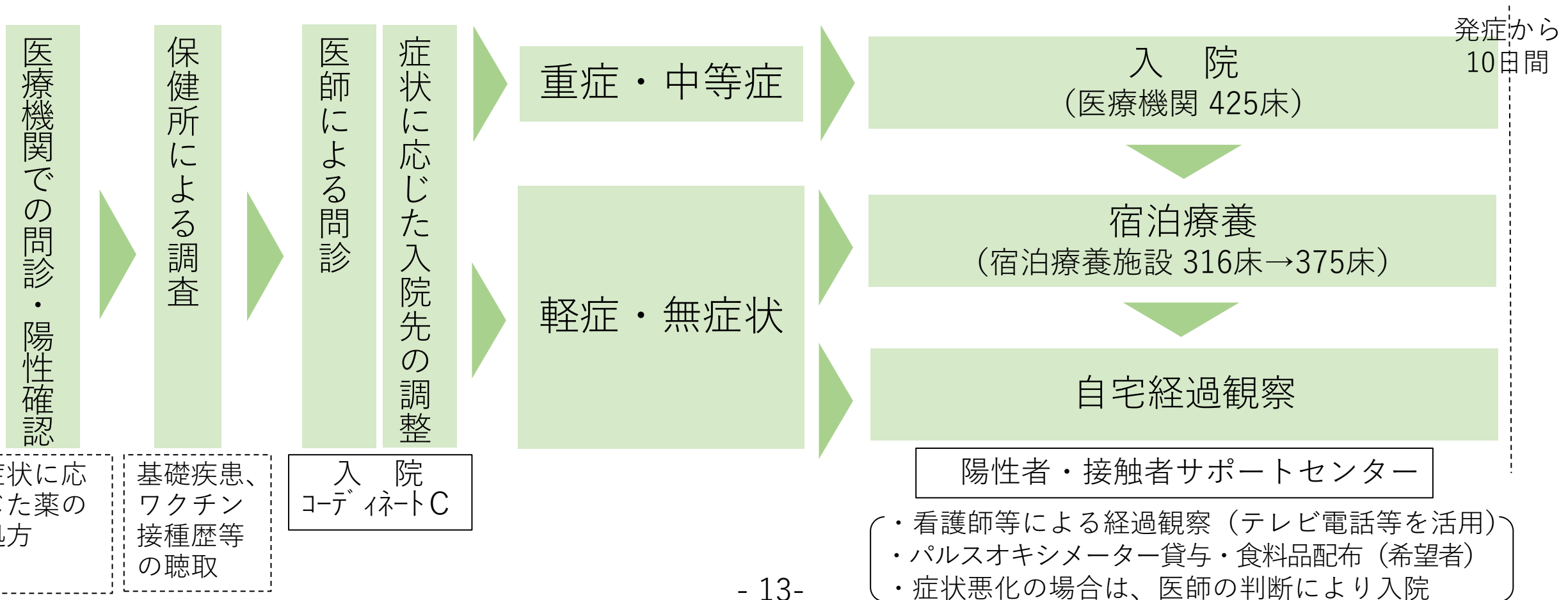
○軽症・無症状者の自宅経過観察を開始

- ・ 医師による初期治療とサポートセンターによる医療体制を整備

医師会連携
福井モデル

※医師による初期治療…陽性確認段階での症状に応じた処方に加え、入院コーディネーターセンター医師による問診

- ・ 重症者・中等症者の入院体制を維持するため、軽症者等の自宅経過観察を開始



○近隣府県からの新規予約の受け付けを停止

- ・ 1月14日（金）から新規予約の受け付けを停止
- ・ 1月21日（金）までに受け付けたキャンセル料は無料化

※ キャンセル料は事業者のキャンセルポリシーに基づき県が補填

※ 感染がさらに拡大した場合には、割引停止を検討

(参考) 近隣府県民向けの割引内容

- ・ 対象府県 富山県、石川県、岐阜県、滋賀県、京都府
 - ・ 宿泊料金割引 50% (5,000円上限)
 - ・ 限定クーポン 土産物店やタクシーで利用できるクーポン券を配布
- | | | |
|------|-------------------|---------|
| 宿泊料金 | 6,000円以上15,000円未満 | 2,000円分 |
| | 15,000円以上 | 3,000円分 |